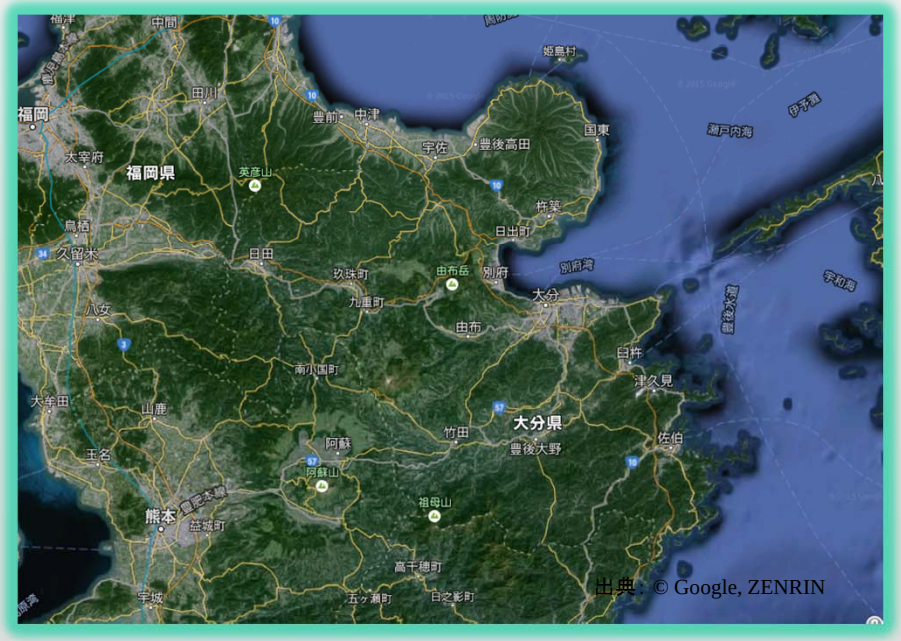
大分市・RIETI経済シンポジウム

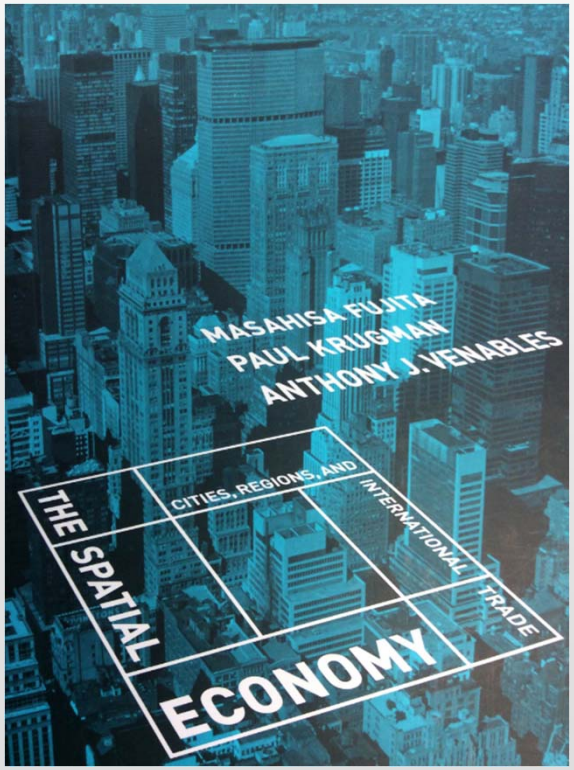
地方創生と経済成長：有効な政策は？



佐藤泰裕
大阪大学　経済学研究科

空間経済学

- 1990年代に大きな流れになった分野。
- どこにどのような経済活動が、なぜ集まるのかを真摯に考える。

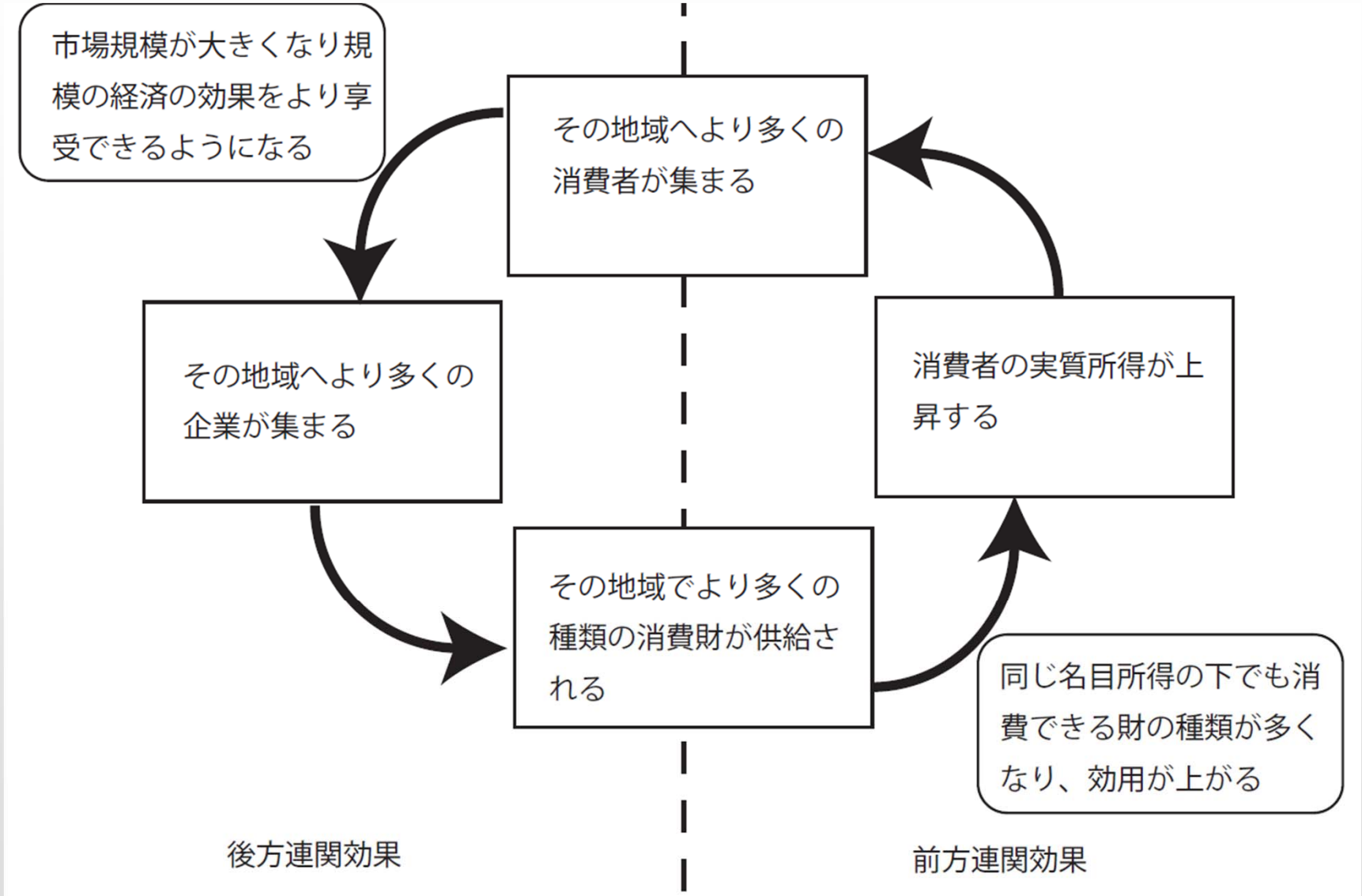


空間経済学の視点

- 人口移動の重要性
  - 働き手・生産の担い手
  - 購買力・消費の担い手
- 人口移動は地域経済に大きな影響
  - 企業移動と相互に作用すると、累積的に大きな効果を生む
  - 中心ー周辺構造

空間経済学の視点：例

出典：藤田昌久（1996）空間経済システムの自己組織化と発展について，大山道広・西村和雄・吉川洋編『現代経済学の潮流1996』，東洋経済新報社、図1より作成

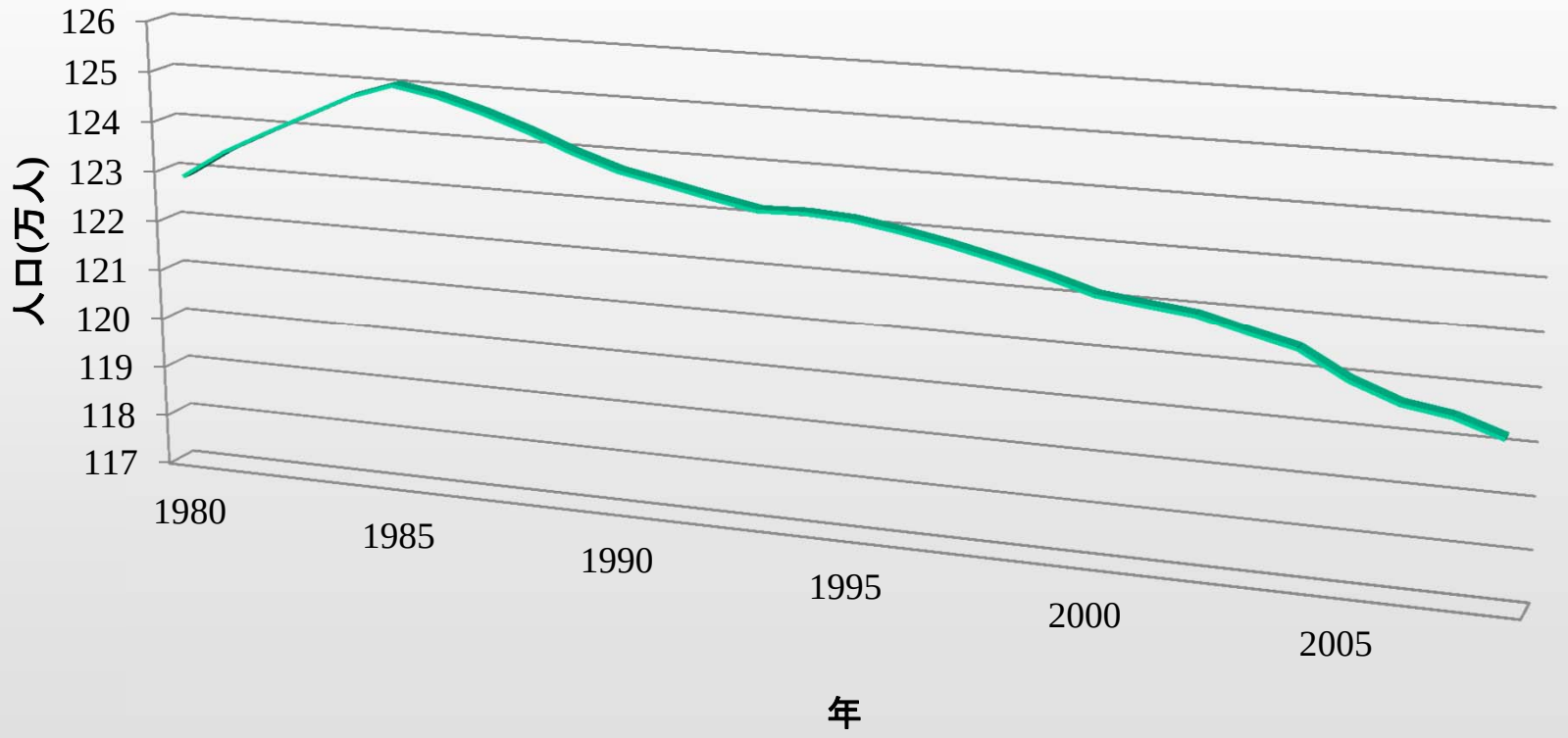


空間経済学の視点

- 人口および人の流れに注目して、大分を眺めてみる
  - 自然増減：出生・死亡による増減
  - 社会増減：人口移動による増減

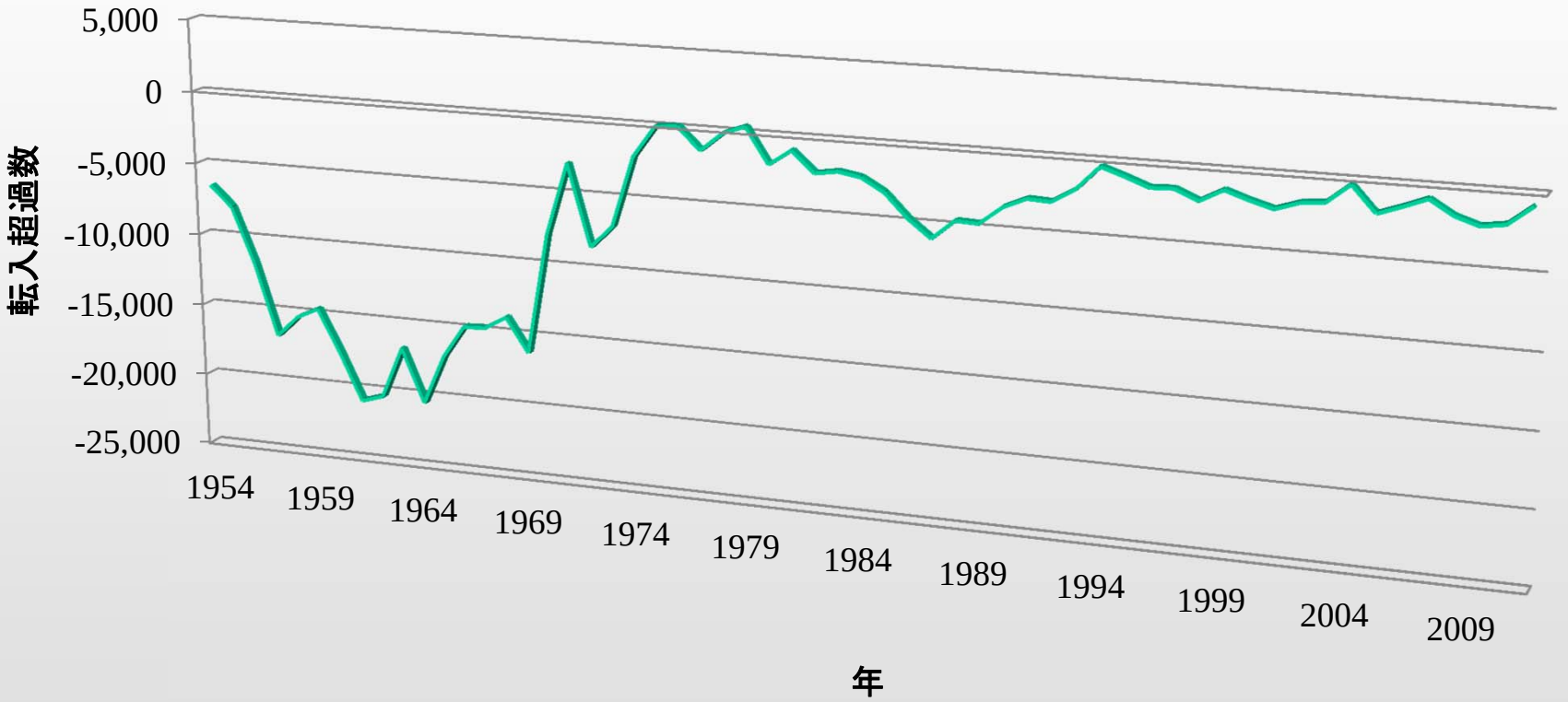
空間経済学が注目

大分県の人口



出典：総務省「国勢調査」

大分県転入超過数



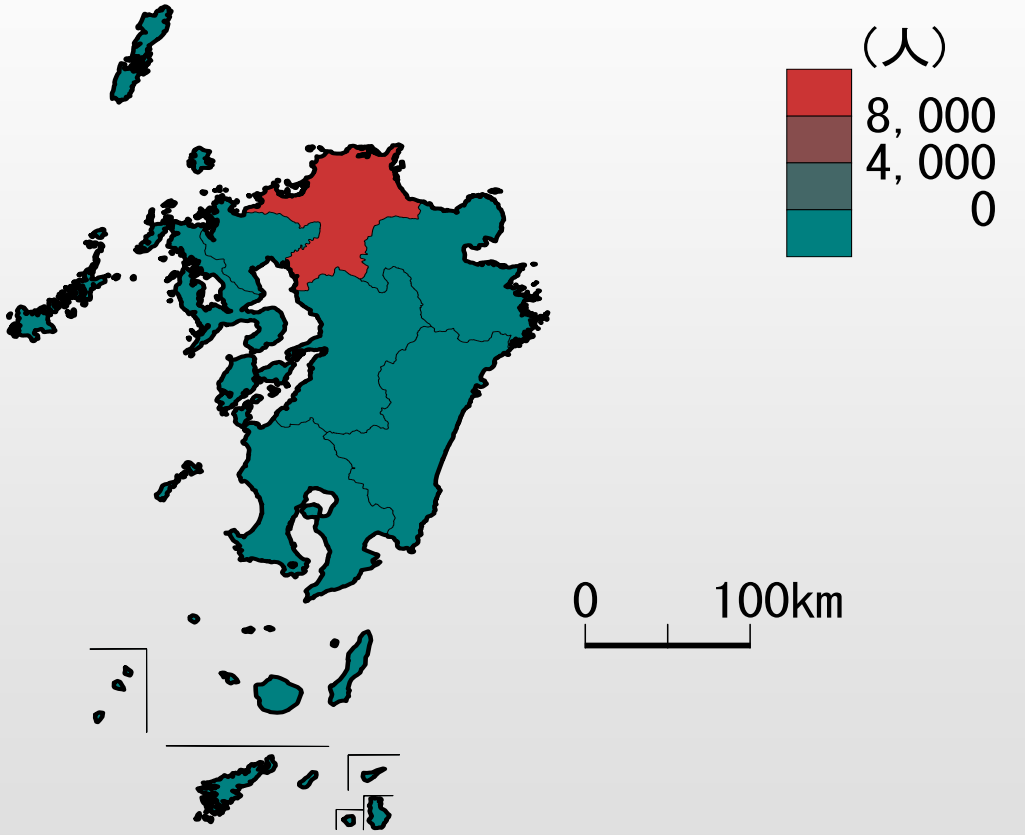
出典：総務省「人口移動基本台帳」

大分からの純流出の多い都府県

大分からの純流出の多い都府県 出典：総務省「人口移動基本台帳」	転入超過数（2009年）
福岡県	―1049人
東京都	―438人
千葉県	―195人
大阪府	―141人
埼玉県	―133人
神奈川県	―87人
愛知県	―82人

九州内の人口移動(2013年)

- 福岡に集中



出典：総務省「人口移動基本台帳」

九州内純流入数

大学進学に伴う移動

大学進学者数（2013年度） 出典：文部科学省「学校基本調査」	
大分県の高校から大学への進学者数	4114人
大分県の高校から大分県の大学への進学者数	932人
大分県の高校から他県の大学への進学者数	3182人
他県の高校から大分県の大学への進学者数	1932人

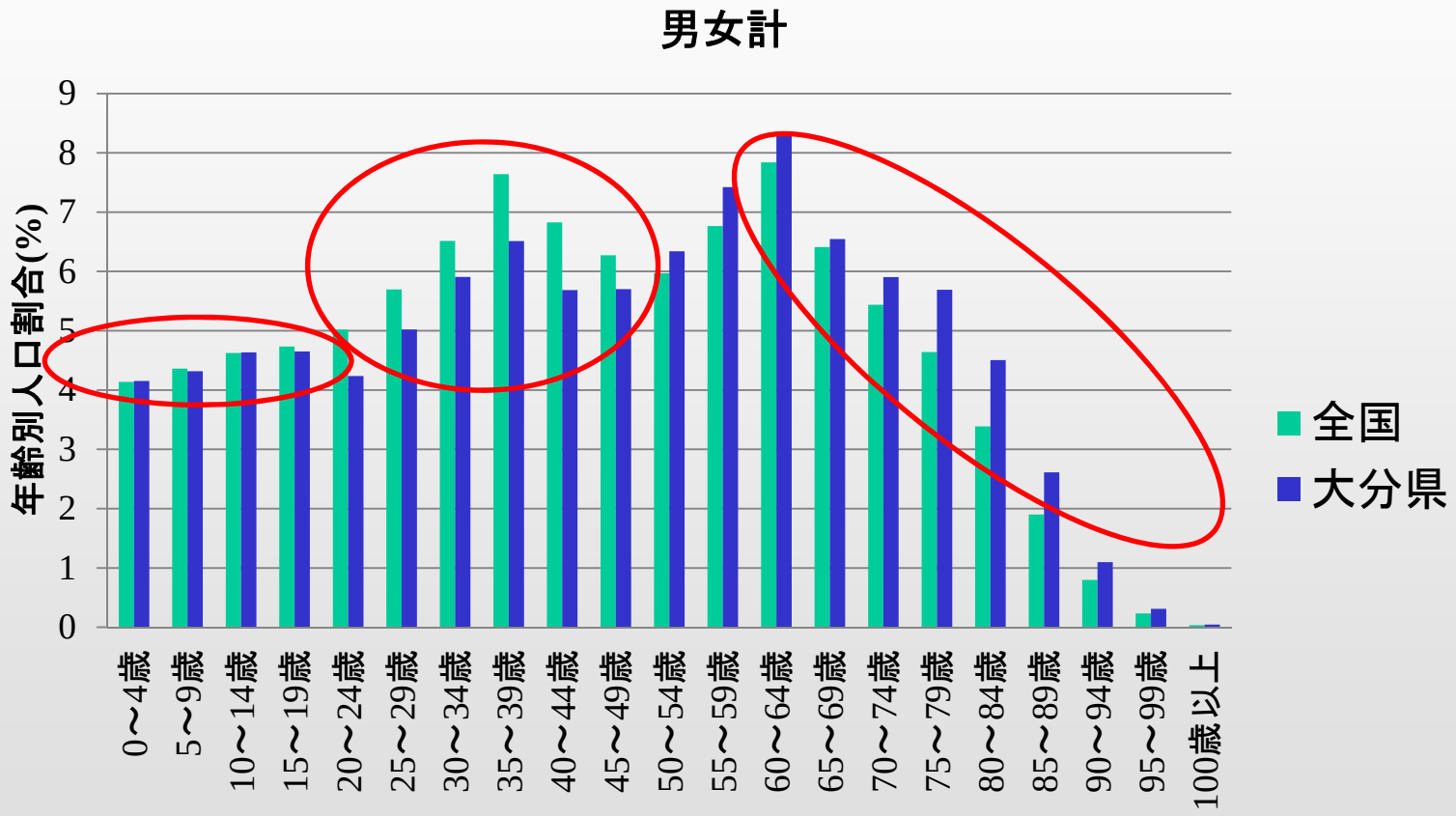
大学生のUターン就職希望率

大学生「Uターン就職希望率」ランキング 出典：株式会社リクルート「就職ブランド調査2009」				n=1981
順位	出身 都道府県	地元を離れている出身者数	うち、地元就職希望者数	Uターン就職希望率
1	東京都	66	44	66.7%
2	富山県	38	20	52.6%
3	愛知県	104	42	40.4%
4	山梨県	15	6	40.0%
5	福岡県	71	28	39.4%
5	石川県	33	13	39.4%
7	静岡県	115	45	39.1%
8	熊本県	35	13	37.1%
9	宮城県	40	14	35.0%
10	大阪府	46	16	34.8%
10	岡山県	46	16	34.8%

大分県の人口移動

- 大学進学に伴い大分県を出る学生が多い
  - 大分県の高校を卒業し、進学する学生のうち、３／４が県外へ。
  - 県外から大分への進学を差し引いても、全進学者の１／４がいなくなる。

大分県年齢別人口割合(2010年)

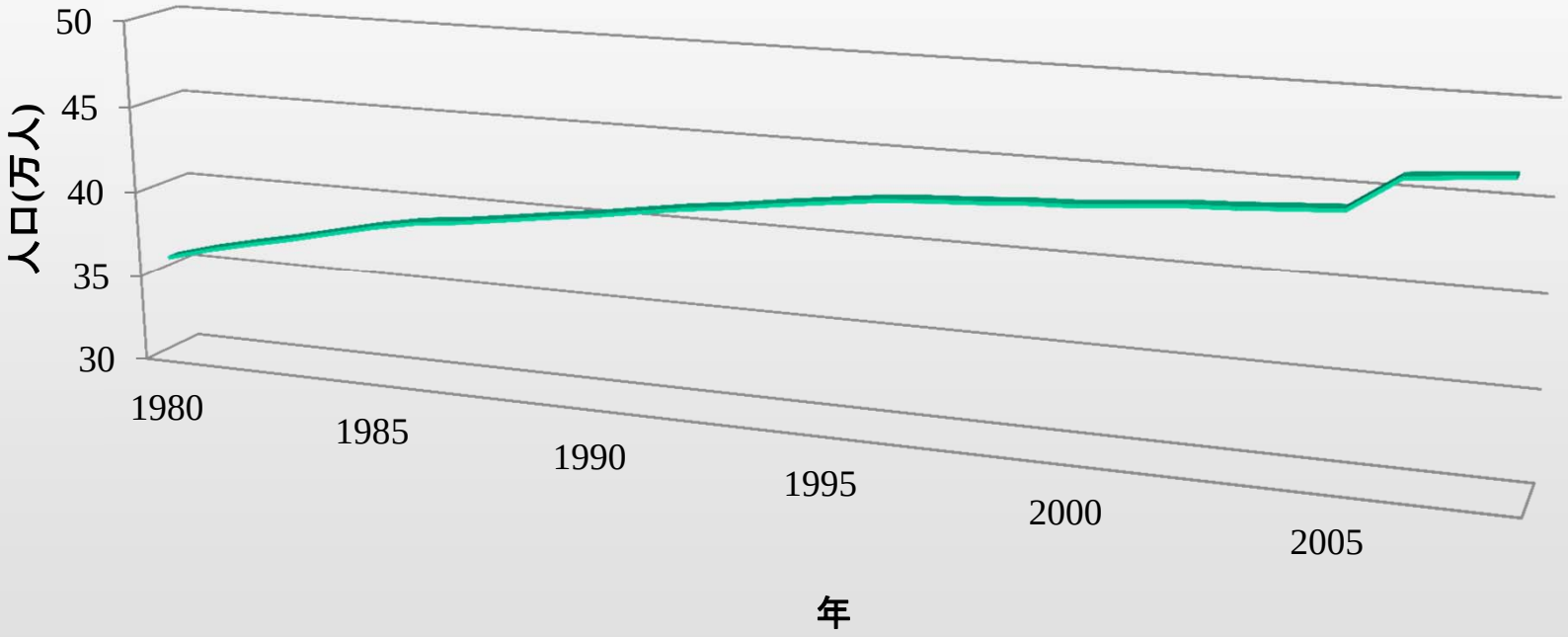


出典：総務省「国勢調査」

県内の地域差：大分市

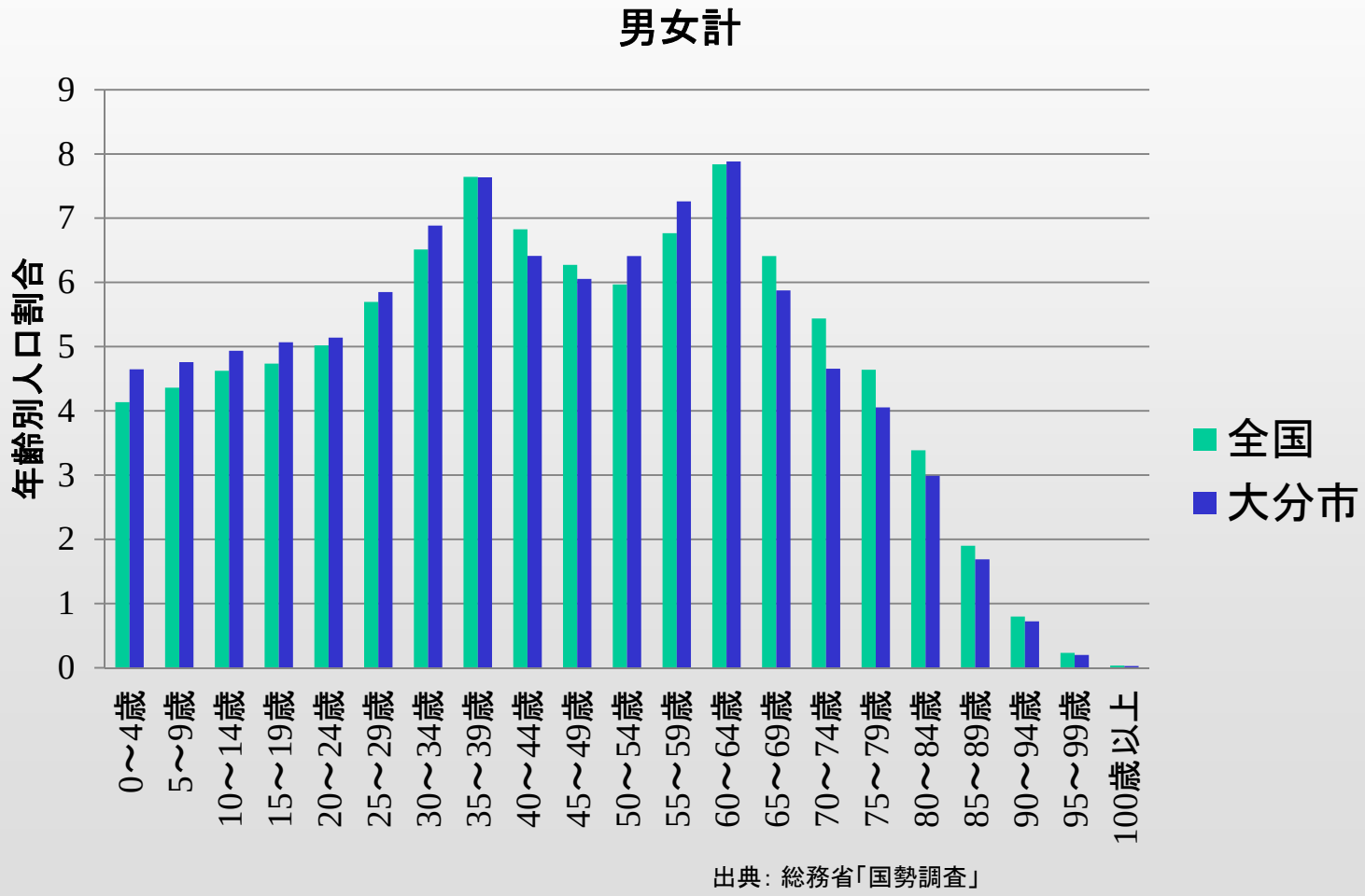
出典： http://www.jroitacity.jp/

大分市人口



出典：総務省「国勢調査」

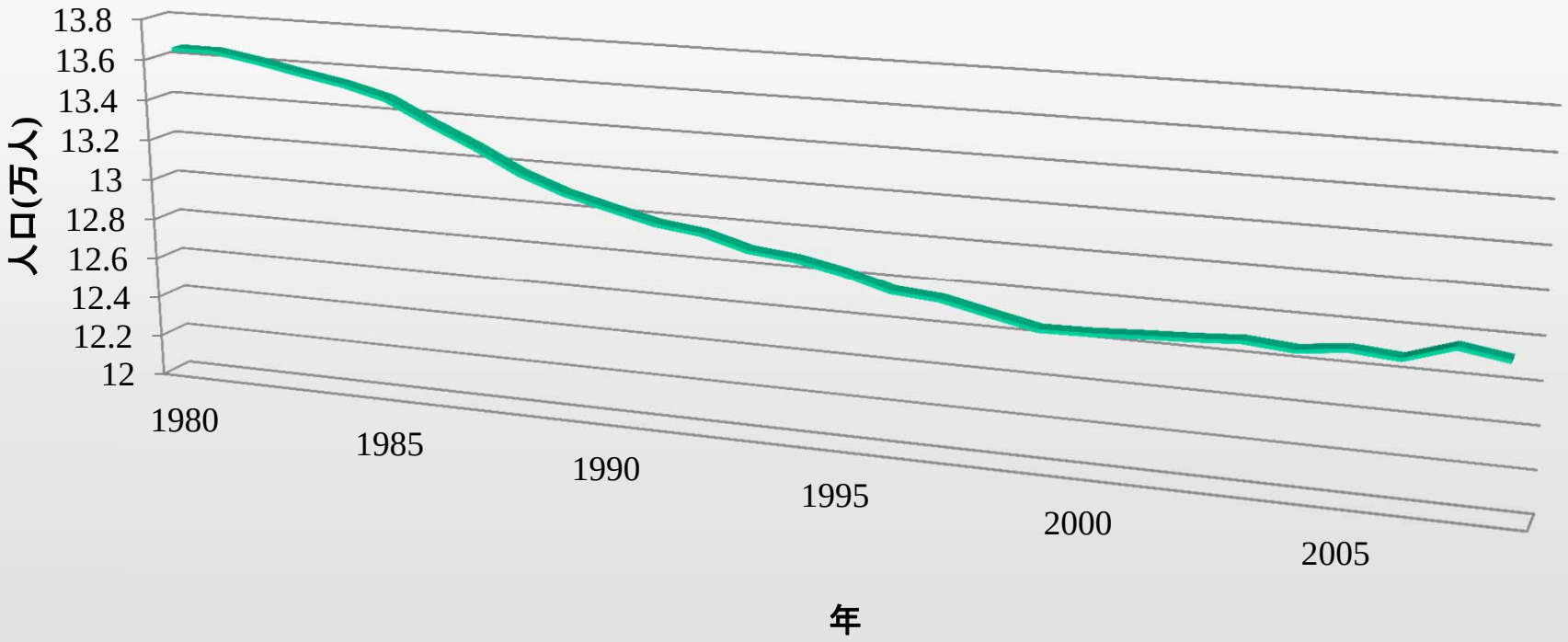
大分市年齢別人口割合(2010年)



出典：総務省「国勢調査」

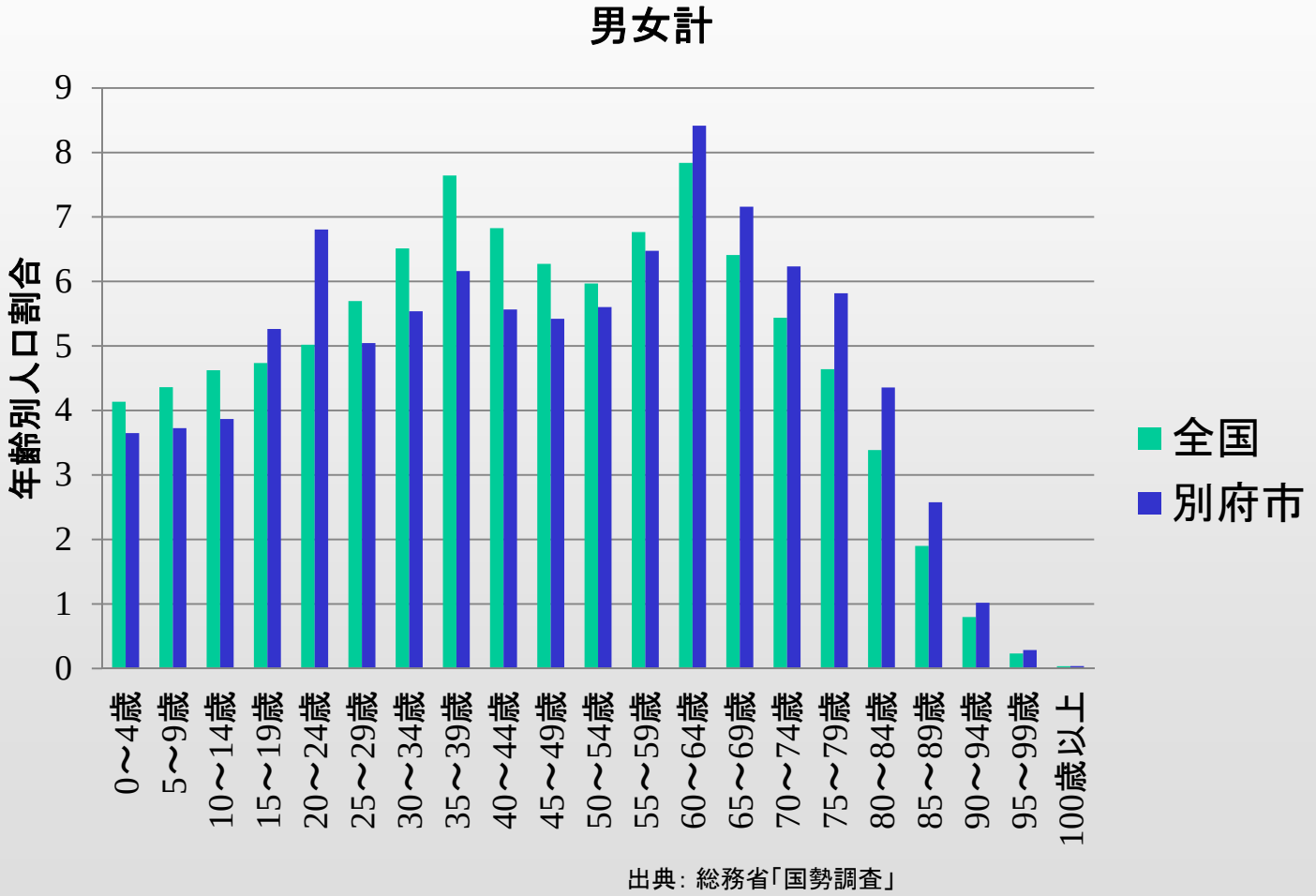
県内の地域差：別府市

別府市人口



出典：総務省「国勢調査」

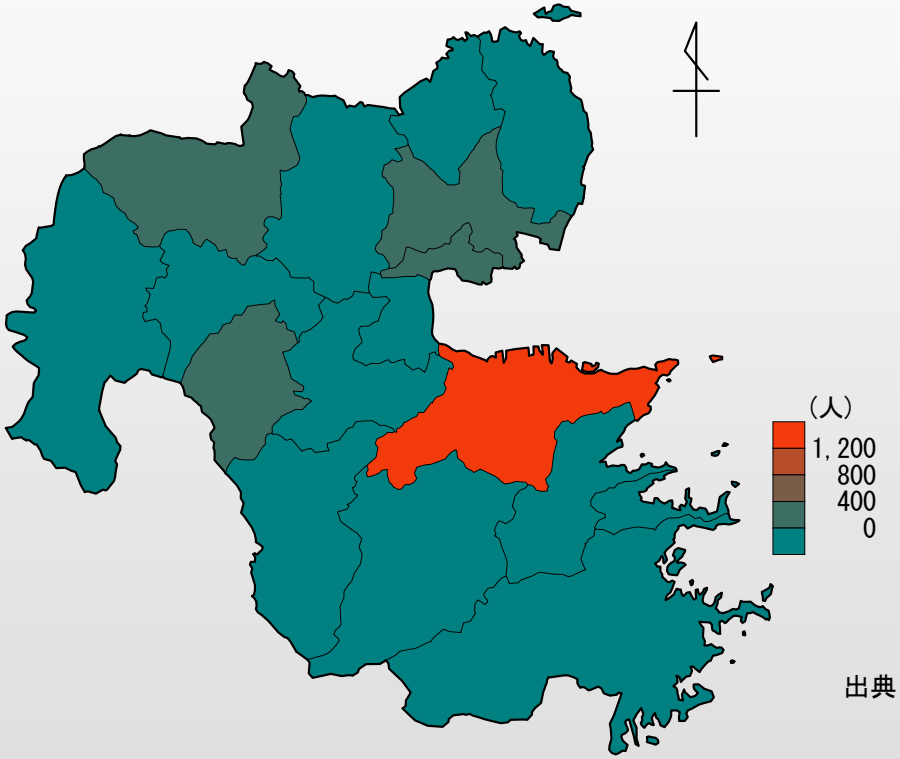
別府市年齢別人口割合(2010年)



出典：総務省「国勢調査」

大分県内の人口移動(平成25年)

- 大分市に集中



大分県内純流入数

出典：大分県の人口推計報告

人口移動の特徴

- 全国区では東京都・大阪府・愛知県に集中
- 九州内では福岡県に集中
- 大分県内では大分市に集中
- 大学進学に伴う移動が多い

大学を活かした地域活性化

- 人材流出を食い止めるという意味での、大学の誘致・再編・支援

- Winters, J.V. (2011 JRS)による実証研究
  - アメリカの州立大学がある都市：人材が豊富で、それによる経済成長
  - よそから来た学生も、かなりの割合が卒業後その地域に残る傾向（在学時のつながり、生活基盤など）

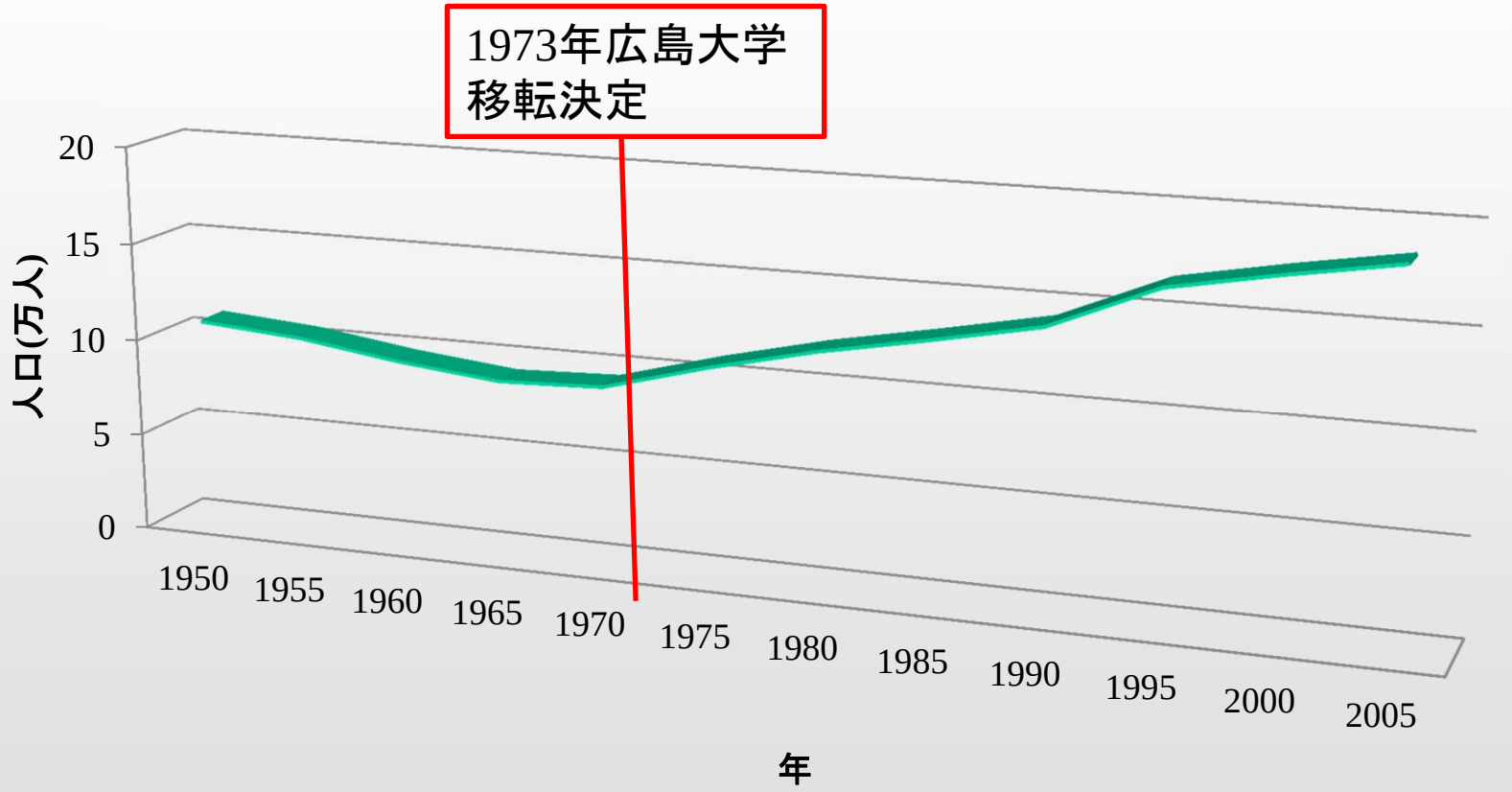
事例①：東広島市

- 人口約19万人
- 1974年合併により誕生
- 2005年さらに合併：新市建設計画で新生東広島市の都市像を「未来にはばたく国際学術研究都市」と定める
- 広島大学の誘致・近畿大学の誘致
- 広島中央テクノポリス

出典：http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/および東広島市シティプロモーション戦略プラン

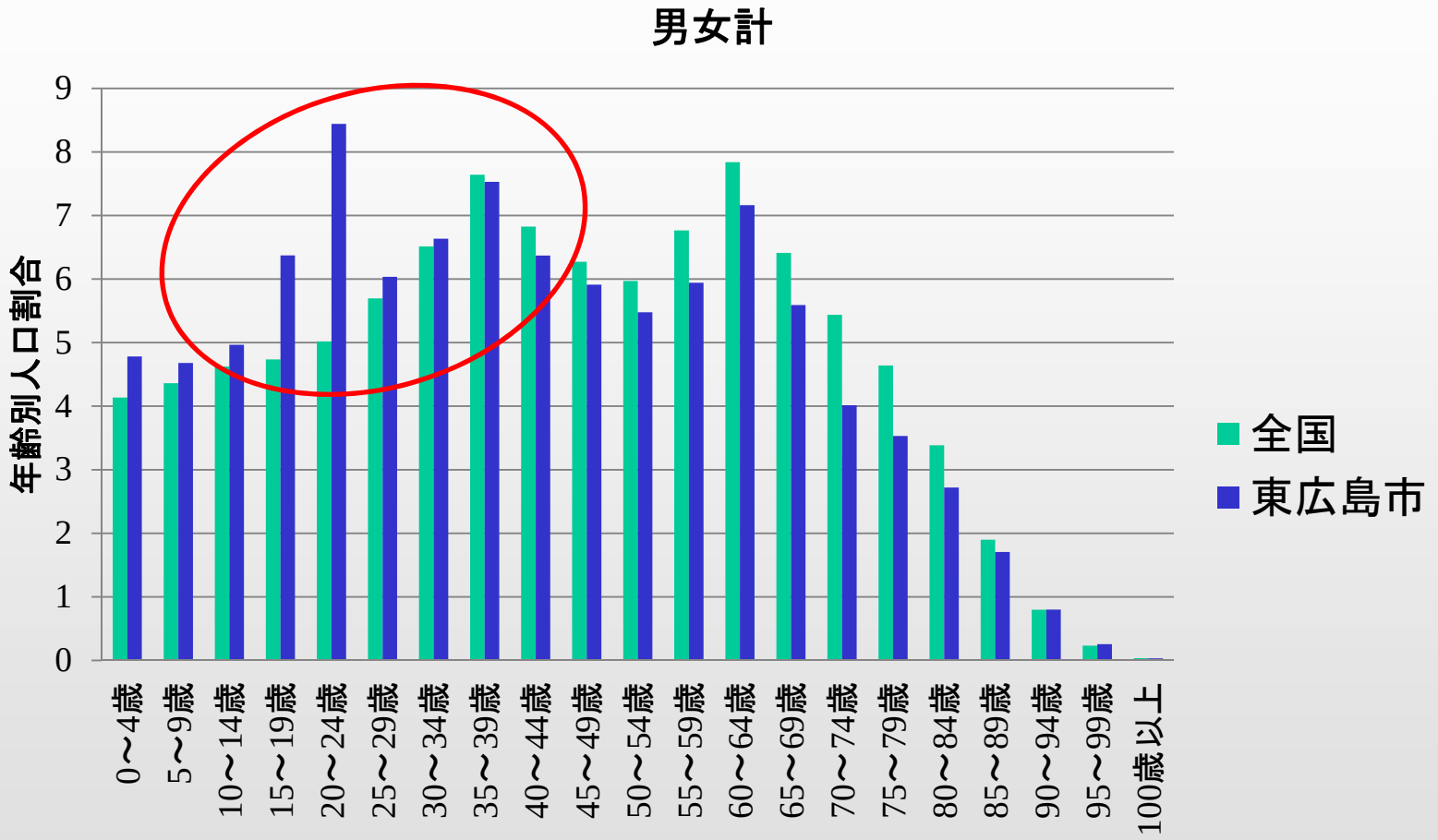
出典：© Google, ZENRIN

東広島市の人口（合併後に合わせて再集計したもの）



出典：統計で見る東広島

年齢別人口割合(2010年)



出典：総務省「国勢調査」

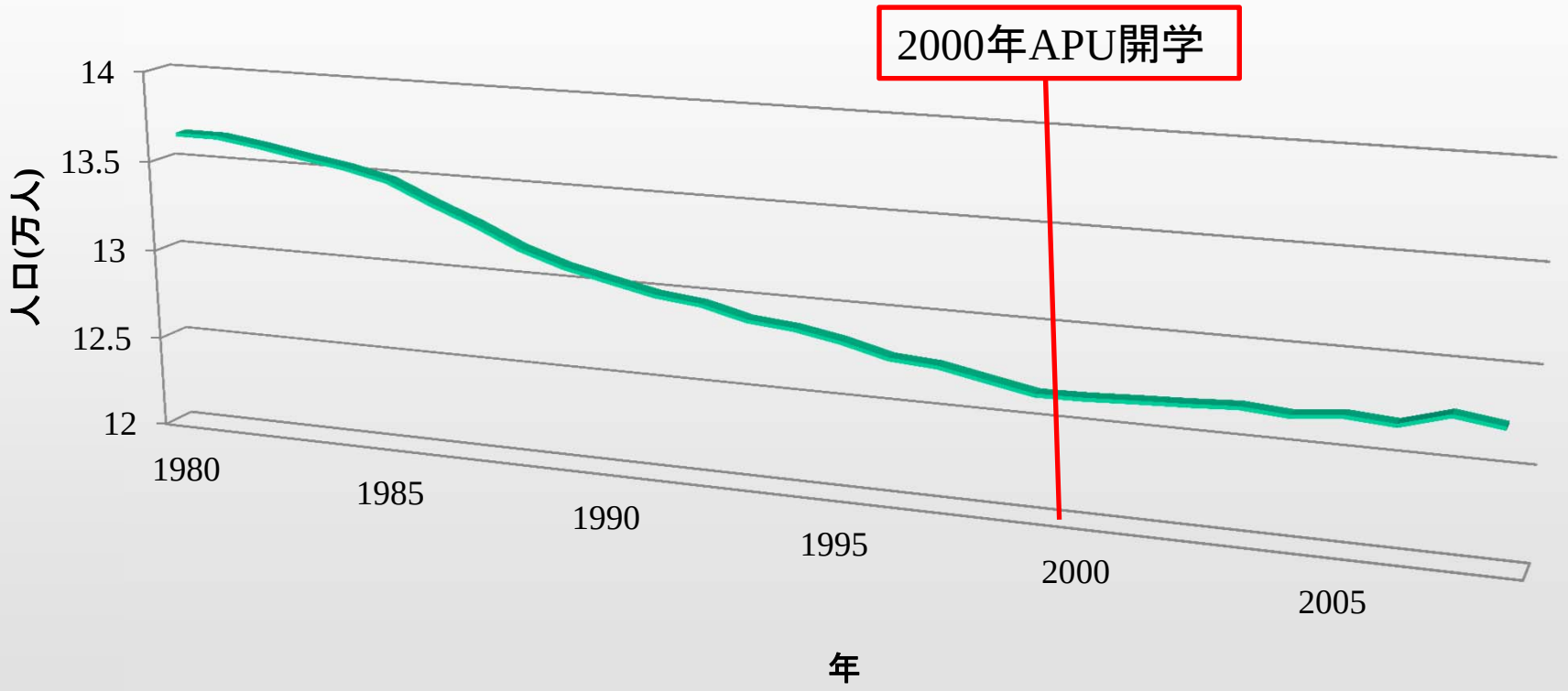
事例②：別府市

- 人口約12万人

- 2000年APU開学

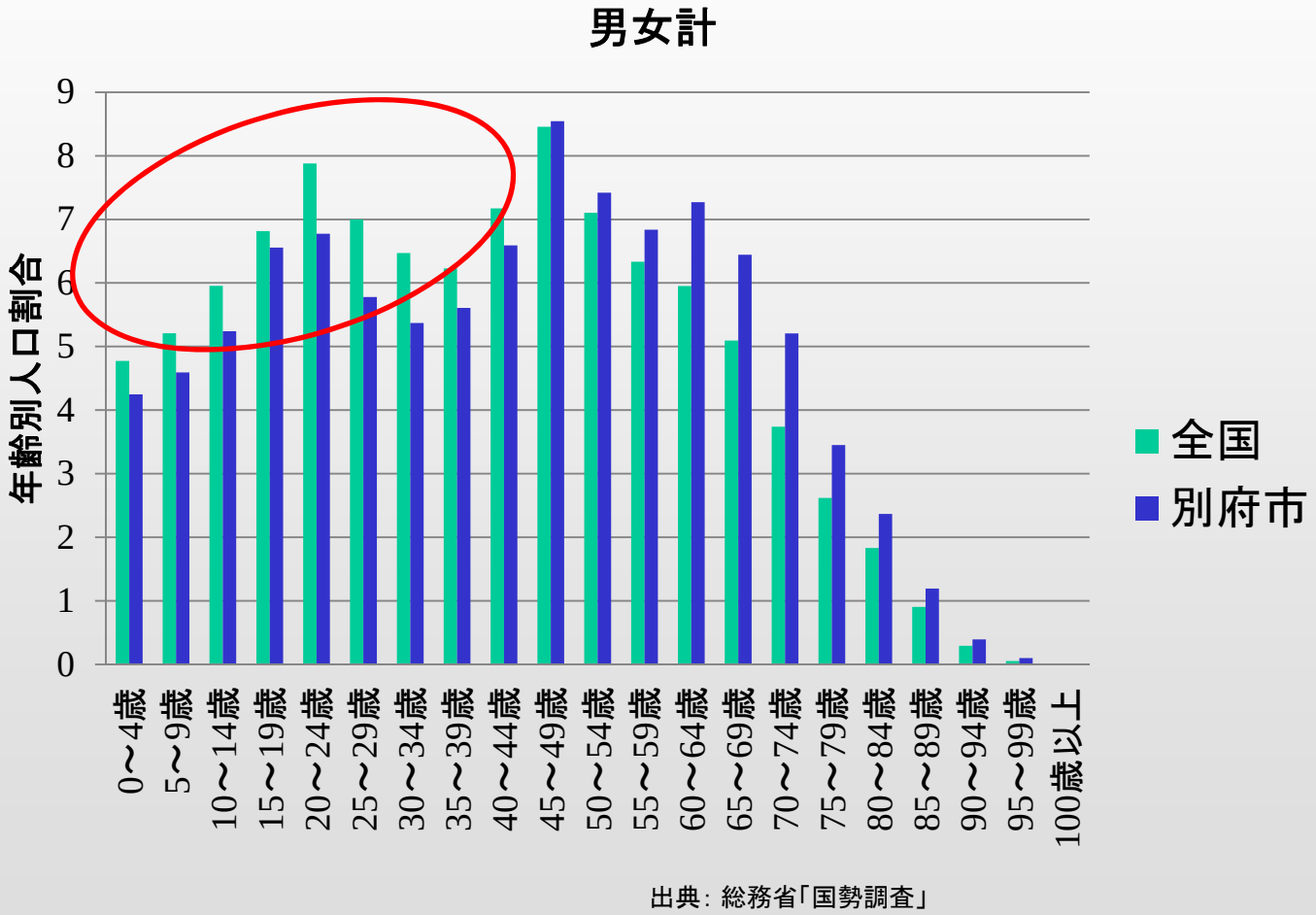
出典：立命館アジア太平洋大学案内 Crossroads

別府市人口



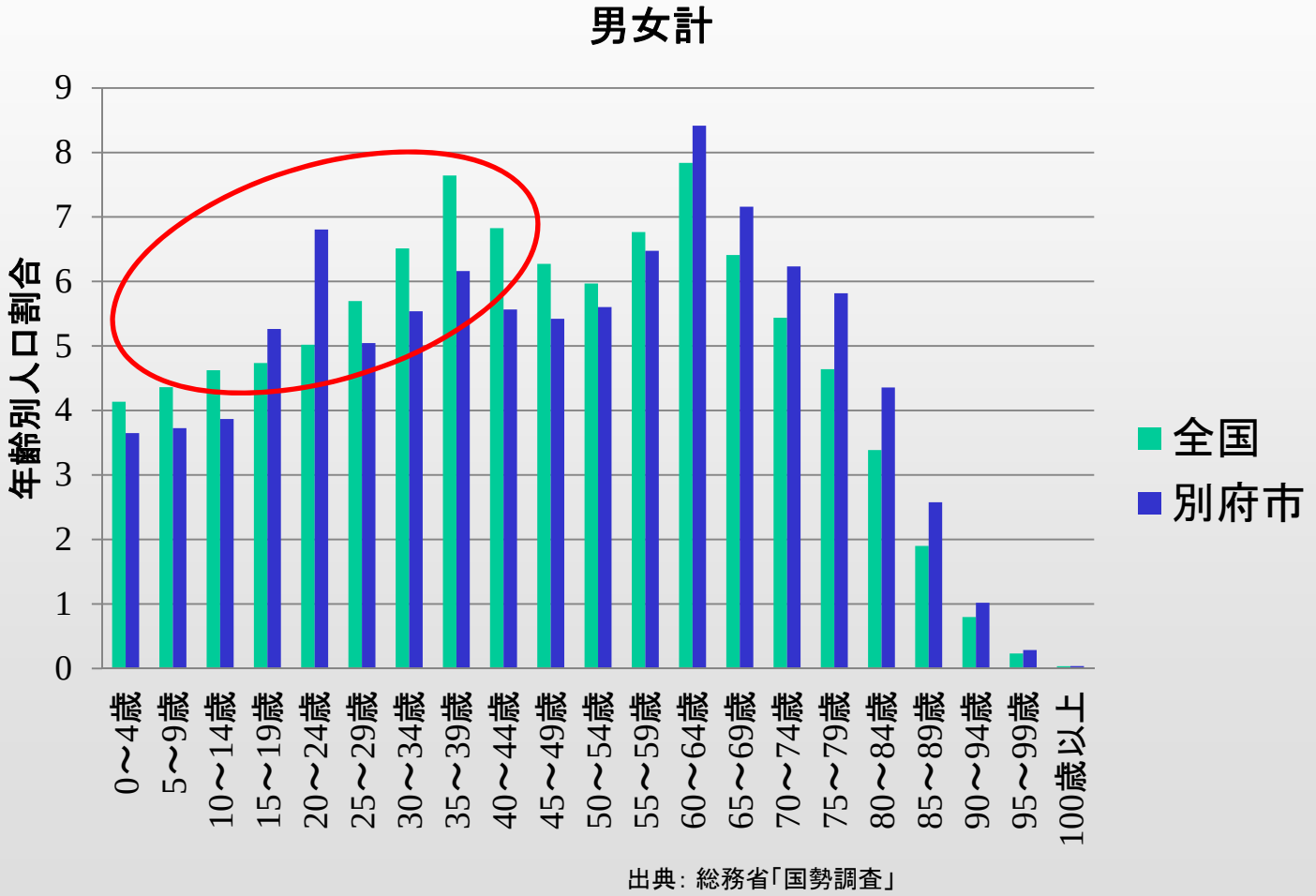
出典：総務省「国勢調査」

別府市年齢別人口割合(APU開学(2000年度)以前:1995年)



出典:総務省「国勢調査」

別府市年齢別人口割合(2010年)



出典：総務省「国勢調査」

APU開学による進学者数の変化

大学進学者数

出典：文部科学省「学校基本調査」

	2013年度	2000年度	1999年度
大分県の高校から大学への進学者数	4114人	5144人	5404人
大分県の高校から大分県の大学への進学者数	932人	912人	792人
大分県の高校から他県の大学への進学者数	3182人	4232人	4612人
他県の高校から大分県の大学への進学者数	1932人	2248人	1799人

APU開学後　　APU開学前

APUの経済効果

APUの経済効果	付加価値効果（市内総生産に対する割合）	雇用効果（就業者に対する割合）
別府市（2008年） 出典：「大学誘致に伴う波及効果検証」	106.9億円 （2.0%）	1358人 （2.4%）

事例③：高知県

- 1997年学校法人高知工科大学開学
- 2009年公立大学法人高知工科大学設立
- 2015年公立大学法人と法人統合

出典：http://www.kochi-tech.ac.jp/kut/index.html

高知工科大学開学による進学者数の変化

大学進学者数 （高知工科大学開学1997年度） 出典：文部科学省「学校基本調査」			
	2013年度	1997年度	1996年度
高知県の高校から大学への進学者数	2767人	3165人	2865人
高知の高校から大分県の大学への進学者数	516人	577人	337人
高知の高校から他県の大学への進学者数	2251人	2588人	2528人
他県の高校から高知県の大学への進学者数	1401人	1331人	1003人

高知工科大学開学後

高知工科大学開学前

まとめと補足

- 大分県からの人口流出：大学進学が重要な要因
- 進学に伴う流出を軽減、改善する政策として、大学の誘致、支援、再編
- 他の産業政策と組み合わせることももちろん重要
  - 差別化や比較優位に留意

まとめと補足

- 例：観光業
  - 大分県の観光業：県内の経済活動への貢献度は全国平均より低い

観光業の経済効果	付加価値効果（名目国内総生産・県内総生産に対する割合）	雇用効果（就業者に対する割合）
大分県（2010年） 出典：大分県企画振興部・大分大学経済学部「旅行客・観光客の消費がもたらす県内産業への経済波及効果について」	1330億円（3.3%）	29131人（4.6%）
全国（2012年） 出典：国土交通省「観光白書」	23.8兆円（5.0%）	399万人（6.2%）

まとめと補足

- すでにある観光資源を組み合わせて差別化をはかる
- 他地域に少ない資源を利用して、比較優位を活かす
- 例：別府温泉＋宇佐神宮＋国東半島の寺社仏閣

出典：http://www.beppu-navi.jp/

出典：http://www.usa-kanko.jp/spots/detail/2

出典：http://www.futagoji.jp/